

第100号

中学生特集



発行 学校法人 藤枝学園
藤枝明誠中学校・高等学校
渉外課広報担当
TEL (054) 635-8155
FAX (054) 635-8494
【URL】https://www.fgmeisei.ed.jp
【Email】meisei@fgmeisei.ed.jp

中学1年地域探訪
制約のなかでも笑顔の研修に



様々な制約の中でも成長を感じられる研修になった

コロナ禍による休校から始まった今年度。4月のオリエンテーションキャンプも中止となり、入学後半を経て初めての校外学習として富士宮へのフィールドワークを実施することができた。1つ目の訪問先は日本盲導犬総合センター。盲導犬によるデモンストレーションや、職員の方からセリモノについて丁寧な説明をいただき生徒達も学ぶことが多かったようだ。当日は雨天を心配しながらの出発であったが昼前から青空が見え始め、2つ目の訪

問先である富士山世界遺産センターからは少し雪をかぶった富士山の姿を望むことができた。生徒達は歓声を上げていた。バスの座席や行動範囲など、ウィズコロナの中で様々な制約のある校外学習であったが、生徒達の心から楽しそうな笑顔に救われた。今年度も後半戦、明誠1年目を生徒それぞれがよい形で締めくくることができるように見守っていききたい。

(J11HR担任 藤野麻里)

日本の歴史・文化への理解を深める4日間となった



平等院



J32HR (伊太小学校出身) 私たちは、京都と奈良へ3泊4日の修学旅行へ行きました。いろいろな研修場所、日本の文化や歴史を学ぶことができました。

古都の魅力を感じた4日間

伊藤咲瑛

1日目は、東大寺に行き、すぐ近くで大仏を見ました。とても迫力があり、当時の人たちの技術はすごかったのだと感じました。また、初めて見る鹿は少し可愛くて、でも怖かったです。

2日目には明日香でサイクリング研修を行いました。班別でコースを決め、史跡や古墳をまわって歴史を感じることができました。坂道が多く、とても疲れましたが、班のみんなで協力できたので良い思い出です。3日目は京都の様々なお寺へ行きました。この日は雨だったので、清水寺の本堂から京都の街並

その威容を誇る東大寺の大仏は、やはり、見応えのあるものであった。2日目はまず「法隆寺」を見学した。現存する世界最古の木造建築や歴史の資料集に掲載されている文化財を直に堪能することができた。午後は明日香村に移動し、班ごとレンタサイクルにて研修地を駆けつけた。晴天のなか、石舞台古墳など有名な遺跡を見学した。綿密な計画を立案し臨んだが、やはり想定外は生じるものである。予期せぬ出来事に対し適切な行動をとることができたが、身をもつて机上の空論だけで

は対応できないことを理解できたであろう。明日香から京都へと移動し3日目の行程が始まった。「二条城」「龍安寺」「銀閣寺」「清水寺」「伏見稲荷」を見学した。強雨予報で代案を検討したが、日頃の学校生活のおかげ(?)か、なんとか持ちこたえ、予定通りに巡視することができた。事前学習で情報を得ていたが、古くから存在する建造物を実際に見ることができ、感銘を受けていたようだ。ホテル到着後、最後の夕食を食べた。研修期間、車いすで参加した生徒が

興味関心を深め、進路意識を高める
例年は東京で行うオータムキャンプだが、今年や現在の自身の取り組みなど多岐に渡るお話をいただき、生徒たちは熱心にメモを取りながら聞いていた。夕食はテーブルマナー講習を受け、有意義な時間を過ごしていた。2日目は三井寺、彦根城で班別研修を進め、時間の使い方を改めて、友人と協力したりする姿を見て、生徒たちの大きな成長を感じることができた。行事の実施を承諾し、ご協力いただいた皆様に感謝したい。



例年と異なる研修となったが、生徒が成長する機会となった

(J21担任 松本早紀)

中学3年間の集大成

J31HR (豊田小学校出身) 鈴木文四郎

私たち藤枝明誠中学校16期生は、10月20日から3泊4日の京都、奈良へ研修に行きました。研修中は京都や奈良の歴史的建造物や伝統文化に直接触れ、多くのことを学びました。

奈良では東大寺の見学や明日香村での班別サイクリング研修を行いました。

た。当時の建造物からひしひしと伝わるものがあり、何年経っても感動を与え続ける素晴らしいものでした。明日香研修では、道に迷いながらも班の仲間と協力し目的地にたどり着いた時は達成感でいっぱいでした。京都では建造物見学だけでなく、京染手書友

行程	
10月20日(火) 奈良 宿泊先: ホテルニューわかさ(別邸) 奈良県奈良市北半田東町1 / Tel.0742-23-5858	学校集合7:30→8:00学校出発(バス)→大井川IC→浜名湖SA→鈴鹿PA(バス内昼食)→宇治平等院11:50→12:50※クラス写真→宿13:40(荷物を置いて)→(徒歩)→14:15東大寺15:30興福寺→(徒歩)→17:15宿→18:00夕食・全体会(1F)→19:15風呂(大浴場)→22:00就寝 《移動》 終日バス 散策ガイド4名
10月21日(水) 飛鳥 宿泊先: ホテルエミオン京都 京都府京都市下京区朱雀堂/ 町口20-4 / Tel.075-323-2727	7:30朝食→8:45宿→(貸切バス)→法隆寺9:30→11:00→(貸切バス)→明日香(昼食・弁当)11:50→12:45→明日香班別研修(レンタサイクル)12:45→16:15→16:30出発→(貸切バス)→18:00ホテル着(京都)→18:45夕食・全体会→(班長・部屋長)→22:00就寝 《雨天時》 バスで明日香研修(石舞台古墳・高松塚古墳・キトラ古墳・万葉文化館) 《移動》 午前バス午後:自転車ホテルまで:バス
10月22日(木) 京都① 宿泊先: ホテルエミオン京都(連泊)	7:30朝食→8:30ホテル出発→(貸切バス)→二条城8:45→9:45→(貸切バス)→龍安寺10:00→10:50→(貸切バス)→銀閣寺11:20→12:30→(貸切バス)→清水寺(昼食:清水順正おかべ家)13:00→15:00→(貸切バス)→伏見稲荷15:30→16:45(貸切バス)ホテル17:20→18:00夕食・全体会→(班長・部屋長)→22:00就寝 《移動》 終日バス
10月23日(金) 京都②	7:30朝食→9:00ホテル出発→(貸切バス)→京都御所9:20→10:30→(貸切バス)→八つ橋庵とししゅうやかた(京染手書友禅体験・昼食)11:00→13:30→(貸切バス)→京都南IC→鈴鹿PA・浜名湖SA→大井川IC→18:00藤枝駅→18:15学校※子供安全連絡網で到着時刻連絡 《移動》 終日バス

バスケットボール ウインターカップ県大会準優勝



来年こそはメインコートで



32HR (浜松開誠館中出身)
石橋 永遠

新チームで臨んだ試合は、今年1・2月の新人戦でしたが、不甲斐ない結果に終わってしまいました。4月には新しい監督が着任し、インターハイ本選出場を目標にした新体制で再びスタートを切りました。しかし、新型コロナウイルスの感染

拡大により、様々な練習試合や大会がすべて中止となりました。又、夏の目標であったインターハイも中止となり、さらに自粛期間では体育館が使用禁止となり思うように練習を行うことが出来ず、チームとしてモチベーションを保つことが難しい時期を経験しました。しかし、各個人が寮や自宅

でトレーニングを行い、この苦難を乗り越えることが出来た。自粛期間が明けてからは、冬のウインターカップのコートに立つという目標に向かって、チームとして再始動しました。

拡大により、様々な練習試合や大会がすべて中止となりました。又、夏の目標であったインターハイも中止となり、さらに自粛期間では体育館が使用禁止となり思うように練習を行うことが出来ず、チームとしてモチベーションを保つことが難しい時期を経験しました。しかし、各個人が寮や自宅

でトレーニングを行い、この苦難を乗り越えることが出来た。自粛期間が明けてからは、冬のウインターカップのコートに立つという目標に向かって、チームとして再始動しました。



チエロ演奏会 「流」の音色にふれる

芸術鑑賞教室

令和2年度の芸術鑑賞教室は世界的なチエリストで、音楽番組でも活躍する宮田大さんとピアニストの西尾真実さんによる「チエロの演奏会」でした。昨年と同様、順心中・高等学校の講堂での演奏会で、往復と

も徒歩での移動となりましたが、国際的なチエロコンクールで日本人として初優勝した卓越した技術と世界で63挺のみ現存する貴重な「ストラディヴァリウス」の演奏を聞くことができました。生徒たちは国際的に活躍するチエリストの演奏を通して「一流」にふれることの感動や大切さを味わうことができたのではないかと思います。



110HR (明誠中出身)
村松 佳香

11月14日に開催された秋季東海地区高校ライフル大会にエアライフル60発競技で出場しました。中学の頃から射撃の練習をしてきました。今年

全国に向けて

緊張感を持ち、練習を重ねる

は新型コロナウイルスの影響で多くの大会が中止となり、私にとって、今年が高校生としての2度目の大会となりました。他県の選手の実力が分からず不安と緊張感の試合でしたが、何とか3位に入賞し、3月に熊本で行われる全国大会に出場することになりました。全国大会に向けて緊張感を持ち、練習に取り組んでいます。

サッカー部 4年ぶり 全国出場！王国復活へ



32HR (掛川西中出身)
中山 碧

私たちは「サッカー王国復活」「全国制覇」を目標に日々活動しています。今年の新人戦は準優勝に終わり悔しい思いをしただけでなく、優勝までの大きな差を痛感しました。次の目標であったインターハイが中止となり、目標を見失った時期もありましたが、選手だけでミーティングを行い、全員の意思を統一しました。そして、苦しい時期を全員で乗り越えて挑んだ選手権静岡県大会。簡単な試合は1つもなく、1・2回戦はPK戦までもつれ苦戦しました。それでも勝ち切ることができ、さらに優勝・全国大会出場を決められたのは、これまでの自分たちの苦労があったからこそだと思います。ここまで支えて下さった家族、友人、先生方にはとても感謝しています。

これからの感謝の気持ちをもち、この結果に満足せず、どんなに苦しい状況でも自分たちの力を信じて1戦1戦謙虚に頑張ります。



35HR (高洲中出身)
田中 太智

私は中学校から明誠でサッカーをし、高校も明誠で全国を目指したいと思いつきました。3年最後の年、憧れが現実になりました。私自身出場機会は少なかったです

が、最高の仲間と監督、コーチのおかげで喜びを分かち合えたことが貴重な経験になりました。全国大会に向け、明誠、静岡の代表という自覚と責任を持って生活し、サッカーに取り組みます。お世話になった方々に感謝の気持ちを持ち、明誠というチーム、家族と共に全国でサッカー王国・静岡を復活させます。



32HR (六合中出身)
寺田 昂弥

6月から始まる予定だった高校総体が新型コロナウイルスの影響により中止されました。このことにより、チームの選手権への想いがさらに強くなりました。

私たちは野球部はマネージャーを含む部員54名で「甲子園で勝つ」という目標を叶えるため、昨年に続き東海大会へ出場しました。しかし、昨年を下回るベスト8で、1つも勝つことができないという非常に悔しい結果となり、改めて自分たちの心の弱さや勝負弱さを実感しました。私たちは今の3年生よりも力がなく、体つきも良くないと言われてきた中で、どういことを練習からやっていたか試合に勝つことができたかを考えて取り組んできました。その結果が2年連続の秋季県大会優勝につながったと思います。しかし、東海大会で1試合も勝つことができなかったということは、まだ自分たちには足りないことが沢山あったと思います。



21HR (前林中出身)
川瀬 譲二

現在の取り組みはひと冬を越えた春、そして夏へとつながっていきます。野球の取り組み以外でも生活全般を見直し、個々の意識を高め、もう一度県の頂点に立ち、次こそは「甲子園で勝つ」ことを実現させます。

悔しさを春、そして夏へ
負けず、勝ちへつなげる

野球部 東海大会出場